

こども新聞 週刊かほピヨンプレス

毎週日曜発行
2025年12月14日

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

きょうのテーマ

みんなの将来

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

「世界津波の日」で高校生サミット

ニュース

教えて



手ぶりを交えながら英語で議論する国内外の高校生たち
=11月27日、仙台市青葉区の東北大災害科学国際研究所

みんなは11月5日が「世界津波の日」だつて知つてた？ 津波に備えようと、国連が2015年に定めました。世界津波の日に合わせて高校生サミットが11月26日～28

アシアの計10カ国から約7面に関連記事



日、初めて仙台市で開かれたよ。東日本大震災の被災地を見学したり、津波対策を話し合ったりする国内外の高校生を、宮城県内の中高生が取材しました。（2、3、6、7面に関連記事）

宣言「震災経験 未来に」

サミットは26日に仙台市宮城野区の仙台港と、若林区の震災遺構荒浜小や海岸林を見学しました。27日は国連が定めた防災の目標である「仙台防災枠組」に書かれた「より良い復興」「震災伝承と災害文化」について話し合いました。



議長を務めた仙台一高2年の小椋琉華さん（18）は「みんな、命を守るために熱い気持ちで話しました。震災の経験を未来につなげたい、とう思いを宣言に込めました」と説明しました。

「ために行動します」と約束しました。

2面と6面に、こども新聞のサイズに再編集した英字新聞の表裏のページ、3面と7面にそれぞれの日本語訳を掲載しました。

△
2面と6面に、こども新聞の表裏のページ、3面と7面にそれぞれの日本語訳を掲載しました。

90人の高校生が参加しました。28日に仙台市青葉区の東北大災害科学国際研究所で開かれた総会・閉会式で、高校生たちは話し合いの結果を「仙台未来宣言」として発表。

「若い世代は災害の記憶を未来へつなぐ責任があります」「一人一人が防災のリーダーになつて、災害に強い未来をつくるために行動します」と約束しました。

取材の成果は、東北大災害研修の協力を得てA3判表裏の防災英字新聞にまとめ、閉会式で国内外の高校生に配りました。

かほく防災記者サミット取材班
小関義恭さん、仙台市富沢中3年後藤有咲さん、仙台青陵中等教育学校3年桜井みらいさん、仙台七北田中3年高橋彩葵さん、仙台月さん、仙台高専名取1年山口岳人さん、業高2年鈴木慎人さん、仙台三高3年阿部真聖さん、仙台青陵中等教育学校6年高橋杏奈さん

この日 何の日

△16日（火） 紙の記念日

1875年のこの日、東京・王子の抄紙会社が西洋式の機械を導入して洋紙の製造を始めました。会社設立を主導したのは1万円札に肖像が描かれている実業家渋沢栄一です。製紙産業の近代化にも貢献したんだね。

きょうの紙面

4・5面 わが校わがまち スクール通信
8面 投稿特集 ※特別編集紙面のため、通常の2面「イマ★どき」、3面「3分チャレンジ」「タイニヤーマスク」「地球の事件簿」、6面「キホンがわかる こども英語」「おぼえよう」は休みました。